

# 13. 【相双】 「相双にまた来たくなる」 交流人口拡大事業

予算額 (9,700千円)

## 相双地域の課題

住民避難の長期化や居住人口の減少による地域活力の低下や担い手不足、さらに観光客数の回復の遅れや根強い風評被害による地域経済への影響といった課題を解決するためには、帰還促進に加え、移住・定住の促進、交流・関係人口の拡大が不可欠である。

新規・**一部新規** 継続

ひと・暮らし・しごと **人の流れ**

## 連携・共創の視点及び取組の独自性

**産・官・学・金・労・言・士**

相双地域ならではの伝統文化、自然・アウトドア、里山といった多様な地域資源を掛け合わせ、管内の市町村や民間企業と連携しながら、地域の魅力体験・発信を通じて、他の地域にはない魅力創出と交流人口拡大を図っていく。

〈アウトプット目標値〉  
・野馬追魅力体験、新しい旅モデルプラン  
参加者満足度割合（アンケート）：90%  
・スタンプラリーで実施予定のアンケート調査で、「あぶくまロマンチック街道にまた来たい」と回答する割合が80%以上

## 取組の内容

### ① 「相馬野馬追」 魅力体験交流事業（新規）

相馬野馬追の歴史と体験を通じて魅力を伝え、人と馬が共に暮らす町で侍・馬事文化を継承する地域住民との交流を図り、相双地域への誘客を促進する。



### ② 「相双地域の新しい旅」 モデルプラン創造事業 プラス（一部新）

新たな旅のスタイルを提案し、相双地域ならではのアウトドアコンテンツの体験を通じて新しい旅の魅力を発信するとともに、地域住民との交流を通じて地域との関わりを促進する。



### ③ 「あぶくまロマンチック街道」 沿線地域魅力発信強化事業（一部新）

あぶくま街道を「見て、触れて、味わう」をテーマとしたメディア(テレビ等)発信や、それと連動した周遊促進により、県内他地域からの一層の誘客を促進する。



## 取組のポイント

- 1 野馬追の歴史・文化・魅力体験
- 2 相双で体験する新スタイルの旅
- 3 あぶくまを「見て、触れて、味わう」周遊の旅

## 当事業で目指す姿

相双の地域資源を活用した魅力体験や地域住民との交流、あぶくまロマンチック街道沿線の里山地域の魅力発信、周遊促進を通じて、地域への来訪の機会を促し、交流人口の拡大を図るとともに継続的な関わりを促進する。

